

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

2011年6月20日 No41
発行担当 医療生協健文会・吉村

みやぎ県南医療生協 槻木事務所 連絡先 090-6056-8275

子供用自転車に5才児大喜び！

地元議員さんとも懇談～町役場の行政機能停滞が心配～困っている人に温かい支援を

19日午後、ボランティアセンターのビルを見たという町民グラウンド仮設住宅の住民から電話が入り、5才児の孫のために自転車がほしい、出来れば扇風機や常備薬セット・調味料セットもという依頼があった。山元町の自転車屋に自転車のストックが10台あったので、早速出かけて組み立てを依頼し、今日（20日）午後、仮設住宅に持って行き、引き渡し



てきました。幼稚園から帰って来ていたボクちゃんは大喜び、おばあちゃんやおとうさんも大喜び、何度もありがとうを言われました。

地元の遠藤町会議員とお会いし、町の実態を詳しく聞くことが出来ました。さまざまな対策の遅れが見られるが、人手不足で方針や施策がうまく伝わっていなかったり、連携がうまくとれずバラバラになっている状況があるとのことでした。未曾有の大震災から3ヶ月、戸惑いと多忙さの中で疲れやストレスが溜まっている頃、本当にご苦労様です。がんばれ山元町職員！住民の命と暮らしと健康をまもるために。私たちも応援します。

町民グラウンド仮設住宅で私の孫（1歳10ヶ月）と同じくらいの幼児を連れのお母さんに出会い、オムツを持ってきてあげてくれることを約束しました。今、仮設は大変なので、支援が必要です。

